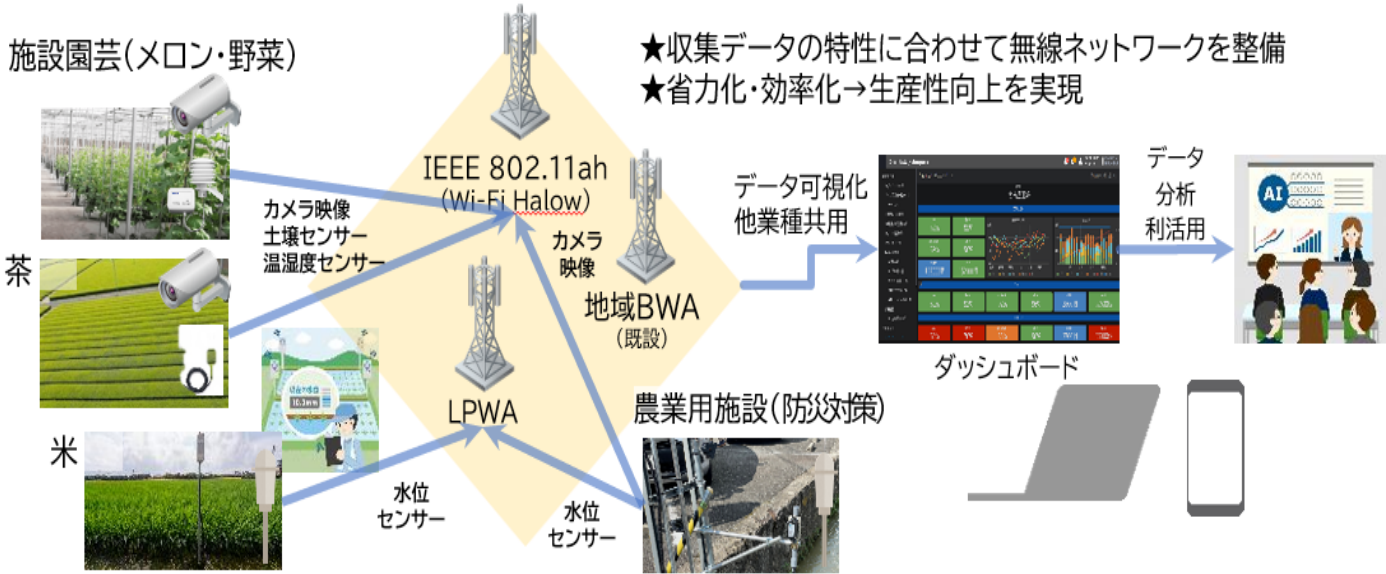


一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します！ ～共に創る これからのふくろい～

発行日：令和7年8月29日
発行者：袋井市企画政策課

2961スマート農業 プロジェクト ～総務省「地域社会DX推進パッケージ」採択～



無線通信技術を活用して米や茶、メロンなどの 農地で土壌や湿度、水位を遠隔監視

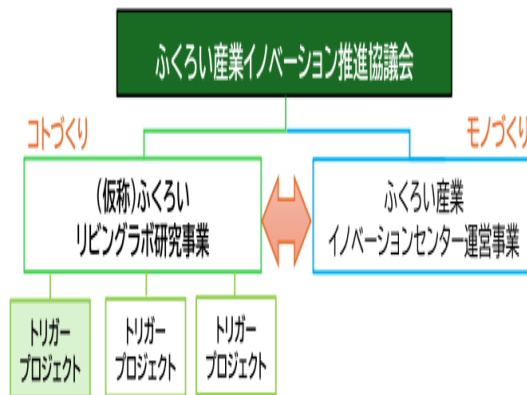
20250627 静岡新聞

センサー活用 (データ分析)

農作業の省力化 生産性の向上

(プロジェクト参画機関)

- (1) 農業経営体
市内のお米・お茶
施設園芸(メロン等)ほか
モデル農家
- (2) 民間事業者
(株) IJJ
(株) 大和コンピューター
浜松ケーブルテレビ(株)
- (3) 教育機関
静岡県立農林環境専門職大学
静岡理工科大学
- (4) 行政機関
袋井市



農地遠隔監視で省力化

袋井市 無線通信技術を活用

袋井市は8月から、IoT
企業や大学と連携し、農産
物の栽培に無線通信技術を活
用する「ふくろい」を
「スマート農業」の一環として
導入する。

「エクト」に乗り出す。米や
茶、メロンなどの農地で土
壌や湿度、水位を遠隔監視
し、データを分析すること
で農作業の省力化、生産性
向上を図る。

官民で連携し、地域課題
の解決につながる研究や実
証に取り組み「リビングラ
ボ」の一環。農地にカメラ



やセンサーを設置し、無線
通信技術で茶園の土壌の水
分量、ハウス内の温度、水
田の水位・水温などのデ
ータを収集して可視化す
る。生産者が直接足を運ば
なくても農地の状況把握
できるほか、大学がデータ
に基づき、適切な病害虫の
防除や水やり、水田調整の
タイミングなどを分析する
ことで、栽培管理の効率化
にもつながる。

市内6軒の生産者をモデ
ルとして実証に取り組む。
2025年度はセンサーや
カメラ、通信基地局などを
整備する。総務省の「地域
社会DX推進パッケージ」事
業に採択されたため、整
備費用2千万円の半額は国
が負担する。収集するデー
タを生かし、温暖化への耐
性を高めた品種の開発も視
野に入れている。